

2010.10.31 NHKスペシャル「認知症を治せ！」

素晴らしい放送内容でした。

私が気にとまった部分を順次まとめてみますね。

1 アルツハイマー病では、発症の遙か20年も前より、アミロイドβが蓄積し始めている。

2 熊本大学・神経精神科の認知症に占める各疾患の割合

アルツハイマー病 56%

レビー小体型認知症 17%

脳血管性認知症 10%

前頭側頭葉変性症 7%

正常圧水頭症 5%

その他

※正常圧水頭症

全国の推定患者数 31万人

手術件数 年間1200件

東北大学・森 悦朗教授（高次機能障害学分野）は、上記数字より、**見逃されている「正常圧水頭症」患者さんは、多々あるのでは・・・**と指摘。

3 アバディーン大学（イギリス）のクロード・ウイシク教授は、20年程前に、タウを分解する物質を発見し、「**レンバー**」と名付けられ、現在、第2相臨床試験が実施中である。

放送においては臨床試験に参加中のジェームズ・ハーディさん（74歳）が紹介されていました。

ハーディさんは、5年前にアルツハイマー病と診断されたそうです。

診断の翌年よりレンバーの臨床試験に参加し、今も継続服用中だそうです。

現在までに、321名の患者さんが臨床試験に参加し、**認知機能悪化が抑えられていた**ため、来年2011年には「第3相臨床試験」開始を検討中だそうです。

感想

夢の薬の登場は、間近に迫っているのかも知れませんね！

しばらく「レンバー」に注目が集まりそうですね。